

## II 開発の目標

マルチキャビティコンテナで育成するコンテナ苗は、小型軽量であることから育成、運搬、貯蔵、植栽の能率が良く、根系の変形が少なく活着が優れているという特徴がある。本事業では、マルチキャビティコンテナを活用して以下の育苗・造林技術を開発することを目標とする。

### 1 マルチキャビティコンテナを利用した育苗技術の開発

我が国の造林樹種・育苗条件・施業条件に適したマルチキャビティコンテナの開発、およびマルチキャビティコンテナを利用し根切り・床替え作業を省略した効率的な育苗技術の開発を行うことを目標とする。

### 2 マルチキャビティコンテナで生産した苗木の植栽技術の開発

コンテナ苗を効率的に梱包・運搬するコンテナ苗運搬システムの開発と、植付け作業を迅速に行うことのできる植付け器具の開発、およびそれらを用いた効率的なコンテナ苗の植栽方法の開発を行うことを目標とする。

### 3 植栽後の保育技術の開発

下刈り作業を省略・軽減するため、他の植生により植栽苗木の生長が阻害されないよう苗木の周りの地表を合成樹脂フィルムで被覆するマルチングを活用した保育技術を開発することを目標とする。